



# 電子部品部会の人材育成事業／ 「ものづくり教室」の実施

電子部品部

わが国の電子部品産業は、製造業の原点である『ものづくり』を核とした先端技術開発並びに独自の生産ノウハウの蓄積により、世界のリーダーとして発展を遂げてきました。今日の熾烈な国際競争環境下において、今後とも世界のトップランナーとして成長するためには、優秀な人材の育成が最重要課題の一つと考えられています。一方で、近年、青少年の理数系離れや「ものづくり」に対する興味・関心の薄れが深刻な問題となっており、大学等における理工

系学生の占める割合も減少を続けています。

(一社)電子情報技術産業協会／電子部品部会は、“モノづくりは人づくりから”という考え方に沿った「産学協調による人材育成」の具体策として、2006年度から部会参加各社の協力の下「ものづくり教室」をスタートさせました。以降、年に3回程度の頻度で継続実施しております。昨年度の電子部品部会「ものづくり教室」の開催実績は次の通りです。

## ①富山地区ものづくり教室（事務局：SMK、コーセル、北陸電気工業、富山村田製作所）

日 時：2011年5月7日（土）午前9時～11時45分

場 所：(株)富山村田製作所内

内 容：「電子ルーレット」の作製

参加者：38名

指導員：30名

## ②中央区ものづくり教室

日 時：2011年7月2日（土）午後2時～4時

場 所：中央区教育センター

内 容：「ストレート方式ラジオ」の作製

参加者：60名

指導員：40名

## ③関西地区ものづくり教室（事務局：JEITA 関西支部）

日 時：2011年11月19日（土）午後1時30分～3時30分

内 容：「まことくん（簡易うそ発見器）」の作製

場 所：高槻市教育センター

参加者：20名

指導員：7名

電子部品部会による「ものづくり教室」は、子供たちが自ら電子工作を体験することによってその楽しさを実感してもらい、子供達のものづくりへの興味を喚起するためのものであると同時に、教室の運営を通じて、参加される指導員（電子部品部会会員会社からの派遣）の方々に運営ノウハウを享受して頂き、各社が各拠点において独自に「ものづくり教室」を実施する際の一

助になることをもう一つの大きな実施目的としております。

今後は、電子部品部会会員会社が主導的な立場で運営する体制へ移行していくことを検討課題としつつ、本年度も中央区教育委員会との共催で、去る7月7日（土）に中央区教育センターにて「ものづくり教室」を実施しました。実施概要は次の通りです。

### 中央区ものづくり教室

日 時：2012年7月7日（土） 午後2時00分～4時00分

場 所：中央区教育センター

内 容：「光センサー おちないロボ」の作製

参加者：55名（男子：30名、女子：25名）

指導員：25名（順不同）

スミダコーポレーション（6名）、TDK（4名）、村田製作所（5名）、

千代田インテグレ（1名）、SMK（2名）、京セラ（1名）、

タイコエレクトロニクス合同会社（2名）、フォスター電機（3名）、ローム（1名）

主 催：中央区教育委員会

共 催：一般社団法人 電子情報技術産業協会



2012年度「中央区ものづくり教室」の実施風景

また、電子部品部会では、会員企業がこれから地域の小中学生を対象に「ものづくり教室」を実施する際の参考となるよう、これまでの運営実績により得られた知見を取りまとめ、「ものづくり教室実施マニュアル」を作成しました。

このマニュアルでは、第1部において「ものづくり教室」の企画、運営の流れに沿った指導員の確保、教材例、安全管理、必要経費、運営上の留意点等についてその概略をまとめ、続く第2部には、東京地区で実

施したトライアルの他、電子部品各社によるそれぞれの拠点地区での実施事例を掲載しました。ご興味のある方は下記担当事務局宛（電子部品部／企画G：03-5218-1056）にお問い合わせ下さい。

このような活動を業界全体に拡大して草の根運動的に広げていくことは、今後の電子部品業界の発展にとって極めて重要なことと考えております。

以上